

平成 21年 4月 28日

学生と教職員のみなさんへ

別府大学 学長
別府大学短期大学部 学長

ブタインフルエンザについて

テレビや新聞等で報道されているように、ブタインフルエンザの感染者がメキシコ、アメリカ、カナダ、ヨーロッパを中心とする国で、発生しています。連休中は、不要不急な海外旅行は差し控えるようにして下さい。

予防のために

- 十分な栄養と休養をとり体力を保持しておきましょう。
- できるだけ人ごみをさけ、手洗い（自分のハンカチを持ちましょう）、うがいを励行しましょう。
- 部屋の加湿や換気に心がけ、水分補給を十分しましょう。
- 感染経路は、飛沫感染と言われています。咳やくしゃみ、会話などで飛沫し、人から人へ移ります。咳のある人は、マスクを着用し、また咳やくしゃみをする時はティッシュやマスクを口と鼻にあて、他の人に直接飛沫がかからないように、咳エチケットを守りましょう。

準備をしておくこと

万一、新型インフルエンザの感染が日本国内で拡大すれば、休校となり、自宅待機になる可能性があります。また、感染予防のために移動も制限されます。各自、食料品や日用品・医療品の備蓄が2週間分必要になりますので、今のうちに少しずつそろえておきましょう。（別府大学ホームページ参照）

やむをえず海外へ行く場合

一般学生は「海外旅行届」を学生課へ提出して下さい。留学生は、「離日届け」を留学生課に提出して下さい。渡航先の新型インフルエンザの発生状況等を確認して下さい。海外でインフルエンザにかかったら、その国の病院などで、必ず専門的な検査を受けて下さい。

現在、査証発給が厳格化され、発生国からの入国にあたり、いろいろな措置があります。飛行機の到着は4ヶ所（成田・中部・関西・福岡）に限定されます。感染のおそれがある時は、宿泊施設で、最大10日間の停留措置となります。

大分に戻った後、インフルエンザのような症状、発熱、呼吸困難などになったら、大学保健室に必ず電話で相談して下さい。

電話相談	別府大学 学生課	0977-66-9622 (保健室 内線229)
	大分県東部保健所	0977-67-2511
	々 夜間、休日	097-536-1111 「新型インフルエンザのことで保健所に連絡が取りたい」と言う。
発熱相談センター		近いうちに、開設され公表されます。 マスクや大学ホームページなどに注意して下さい。 必要な場合は、病院紹介が受けられます。

新型インフルエンザに関する情報収集先

- ・ 厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/>
- ・ 外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>